

第1号議案 平成27年度事業報告

1 概況

- (1) 神奈川労務安全衛生協会（以下「当協会」という）は、公益社団法人として
- ① 労働安全衛生法に基づく技能講習、特別教育の実施
 - ② 労働基準法、労働安全衛生法及び関係法令の普及啓発活動
 - ③ 労働福祉向上のための相談、調査研究及び広報

3つの事業目的を掲げ、事業場における労働災害のない職場づくり、従業員の心身両面にわたる健康づくり、だれもが安心して健康で働くことができる社会の実現に努めてきた。

併せて、神奈川県下の事業場における労働災害の防止、健康保持増進、適正な労働条件の確保等のための活動を促進し、公益目的事業を推進してきた。

昨年(平成27年)10月15日には湯本富士屋ホテルで「神奈川労務安全衛生大会」を開催し、各事業場から約460名が参加して労務安全衛生功労者の表彰を行うとともに事業目的に沿った大会宣言を採択して成功裏に終了した。

- (2) 平成27年の神奈川県内における労働災害の発生状況は、平成28年3月末現在で、死亡者数は36人と前年同期比4人増加した。一方休業4日以上の死傷者数は6,511人と前年同期比1.9%減少した。中でも製造業は、死亡者数4人と前年同期比4人減、死傷者数は1,005人と対前年比6.6%減少となっている。

平成28年も「第12次労働災害防止推進計画」に基づく目標の達成に向けて、推進計画で示された重点業種対策をはじめとする施策を確実に実施していくかなければならない。

- (3) 経済情勢は、日銀の金融緩和策によって景気回復が期待されたが、その後中国経済の減速懸念によって足元では株安など不安定な状況となっている。

一方、神奈川県の雇用情勢は有効求人倍率が3月で1.01となっており、足取りは鈍いものの景気回復の兆しが見えてきている。

当協会の主要事業である教育事業は、平成27年度実績が年間で延べ435回の講習開催となっており、受講者総数で19千名余となっている。

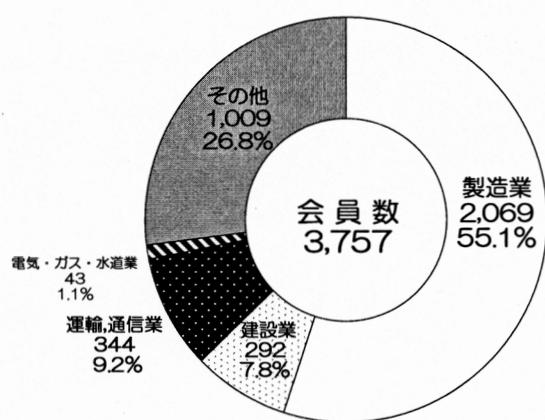
平成27年度の決算は、経常収益が538百万円、経常費用が537百万円となっており、正味財産が1百万円増となっている。事業収入の柱となっている技能講習収入が308百万円となっており、技能講習収入増に取り組みながら事業収支改善を図ってきた。

当協会の財務状況は、正味財産期末残高が775百万円で、基本財産と特定資産を合わせた資産合計が677百万円となっている。公益会計基準に則って財政基盤の安定と収支相償の事業運営を目指している。

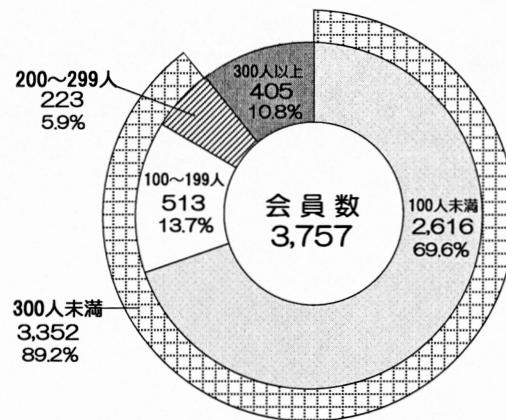
(4) 平成 27 年度末の当協会会員数は 3,757 事業場となっており、従業員数は約 56 万 5 千人となっている。平成 27 年度の入会は 46 会員、退会は 105 会員であった。

会員の内訳を見ると、業種別では製造業が約 55%、規模別では 300 人未満で約 90%、さらに 100 人未満では約 70% となっている。

1. 業種別会員数



2. 規模別会員数



公益社団法人として、会員事業場のみならず神奈川県下の各事業場に呼びかけ
公益目的事業を展開し、広く社会的評価が得られるような事業活動をしてきた。

併せて神奈川県のご指導をいただきながら、法令遵守のガバナンスと公益会計
基準に則った財務運営を目指して取り組んできた。

2 主要事業報告

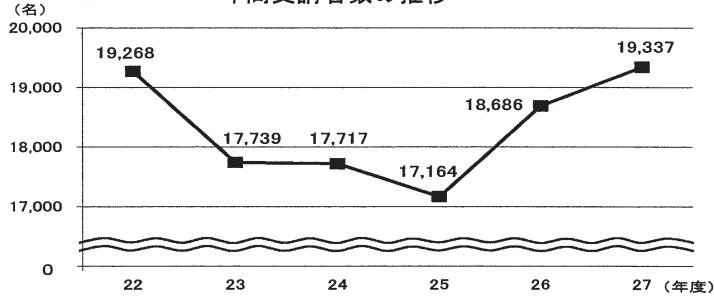
【1】 教育事業

神奈川労働局の登録教習機関として、法定の作業主任者技能講習や技能講習を中心に、特別教育や能力向上教育等を含め講習会を開催し、厳正・適正に実施しており、労働安全衛生法及び関係法令の普及・啓発に努めている。この教育事業は、講師・講習内容において高い信頼を得ており、県下教習機関で一番の実績を誇っている。

平成 27 年度の講習実績は、昨年より 650 名余増えて 19,337 名となった。科目毎に作業主任者技能講習を 105 回開催、8,178 名が受講しており、技能講習は 174 回開催、5,398 名が受講している。特別教育及び能力向上教育等を加え全体で年間延べ 435 回開催、受講者総数 19,337 名の受講実績となっている。

特に受講希望者の多い作業主任者技能講習は専門性が高く、実務経験豊富な講師が担当しており信頼性の高い科目となっている。この作業主任者技能講習の中でも、「酸素欠乏・硫化水素危険」は 25 回、「特定化学物質及び四アルキル鉛等」は 24 回、「有機溶剤」は 25 回開催されており、3 科目合計で年間延べ 74 回開催、6,346 名が受講している。

年間受講者数の推移



平成 27 年度 科目毎の講習実績

講習名		回数	人員	講習名		回数	人員
作業主任者技能講習	プレス機械	6	261	特別教育	動力プレスの金型等の業務	6	176
	乾燥設備	4	307		電気取扱業務	10	483
	足場の組立て等	9	676		クレーンの運転の業務	10	629
	建築物等の鉄骨の組立て等	1	12		研削といしの取替え等の業務	9	573
	木材加工用機械	1	32		アーク溶接等の業務	6	296
	はい	3	166		フォークリフトの運転の業務	3	41
	鉛	4	152		産業用ロボットの業務	6	284
	酸素欠乏・硫化水素危険	25	2,206		第二種酸素欠乏危険作業	7	160
	特定化学物質及び四アルキル鉛等	24	1,847		ダイオキシン類作業	5	203
	有機溶剤	25	2,293		足場の組立て等作業	4	103
習習等	石綿	3	226	小計		66	2,948
	玉掛け	52	2,366	能力向上等	安全管理者	1	15
	フォークリフト運転 A・B	11	205		衛生管理者	1	57
	フォークリフト運転 C・D	61	1,099		フォークリフト運転業務従事者	1	48
	ガス溶接	22	852	小計		3	120
	床上操作式クレーン運転	12	727	養成	第一種衛生管理者	7	519
	高所作業車運転	16	149		第二種衛生管理者	4	114
	安全衛生推進者養成講習	22	510		エックス線作業主任者	2	57
	衛生推進者養成講習	10	256	小計		13	690
	安全管理者選任時研修	32	878	講習	局所排気装置等定期自主検査者	7	300
	小計	343	15,220		救急法（基礎 + 短期）	3	59
					小計	10	359
				計		435	19,337

【2】 広報・啓発事業

安心・安全な職場づくりに向け労働関係法令の周知を図るとともに、第12次労働災害防止推進計画に基づく目標の達成と労働条件の確保・改善対策等に係る事項に注力して取り組んできた。実施にあたっては、神奈川労働局、神奈川県のご指導の下、神奈川産業保健総合支援センター、中央労働災害防止協会はじめ労働災害防止団体等と連携・協働して周知・啓発等を実施してきた。

平成27年度は、労務安全衛生管理夏季講座や衛生管理担当者交流会をはじめ人事・労務管理セミナー、安全衛生管理実践セミナーなど年間延べ22回開催し、各事業場から多くの参加をいただき、996名の参加人員となっている。

各専門委員会は、労働基準行政の重点課題や労働災害発生状況等を踏まえて、タイマリーな企画や情報提供に心掛け各事業場に参加を呼びかけ研修会やセミナーを開催してきた。

このほか、全国労働基準関係団体連合会神奈川県支部として「新規起業事業場就業環境整備事業」「介護事業場就労環境整備事業」などを推進してきた。

① 労務安全衛生管理夏季講座

平成27年7月16日 ホテル横浜ガーデン 参加者72名

② 神奈川衛生管理担当者交流会

平成27年12月1日 ホテル横浜ガーデン 参加者58名

【研修会・セミナー関係】

研修会・セミナー	回数	人員
産業保健研修会	1	27
人事・労務管理実践セミナー	3	97
特別セミナー（改正労働安全衛生法）	2	179
安全衛生管理実践セミナー	4	111
安全衛生実務レベルアップ教育	1	38
火災爆発災害防止講習会	2	145
労働衛生工学講座	2	76
総括安全衛生管理者セミナー	1	41
体験型機械設備の安全化研修	1	14
リスクアセスメント実務研修会 (リーダー向け、スタッフ向け)	3	138
計	20	866

【3】神奈川労務安全衛生大会

10月14日「平成27年度神奈川労務安全衛生大会」が平塚支部・小田原支部の担当で「湯本富士屋ホテル」において約460名の参加の下、盛会裏に開催された。

大会には、ご来賓として若生神奈川労働局長、川合神奈川県産業労働局労働部長、山口箱根町長、加藤小田原市長、小野中央労働災害防止協会専務理事をお迎えした。

開会に先立ち、労働災害で殉職された方々に哀悼の意を表して全員で黙祷を捧げ、当協会の藪会長の開会挨拶に続き、地元箱根町の山口町長よりご挨拶をいただいた。

協会表彰では労務安全衛生功労者に協会長賞が授与され、支部別安全競争で優勝、準優勝、努力賞、向上賞がそれぞれ授与された。また、併せて全国THP推進協議会表彰の伝達が行われた。引続いて、ご来賓の方々のご祝辞をいただき、小田原支部長による大会宣言が読上げられ、会場参加者の拍手で確認・採択された。

平成27年10月14日	湯本富士屋ホテル	参加者 458名
来賓祝辞	神奈川労働局長	若生 正之
〃	神奈川県産業労働局労働部長	川合 充
〃	小田原市長	加藤 憲一
〃	箱根町長	山口 昇土
〃	中央労働災害防止協会専務理事	小野 晃
体操披露	ころばNICEかながわ体操のすすめ	神奈川労働局安全課 (公財)かながわ健康財団

第一部 表彰式

労務安全衛生功労賞 54名

支部別安全競争 優勝・準優勝・努力賞・向上賞

全国THP推進協議会表彰伝達 進歩賞

第二部 特別講演

話芸家 江戸家 猫八

【4】機関誌・刊行物関係

協会機関誌「労務安全衛生かながわ」は、昭和22年7月20日に創刊され、足掛け69年を迎えており。協会機関誌「かながわ」は年12回発行しており、平成27年10月には800号を迎える「800号記念特集」を企画し掲載した。

「かながわ」は神奈川労働局をはじめとする監督諸官庁のご指導・ご協力により、労務管理や安全衛生に係る法令改正・通達や行政重点施策の周知・解説・災害事例の分析と再発防止策の紹介などタイムリーで幅広い情報が伝えられており、広報・啓発手段として大いに活用されている。また、監督官庁と会員事業場間あるいは会員事業場同志の情報交換・コミュニケーションの手段として大いに活用され、会員事業場の管理レベルの向上に寄与している。

- ① 協会機関誌「労務安全衛生かながわ」12回発行（1回発行部数約7,800部）
- ② 2016年版労務安全衛生手帳2,775部
- ③ 各種テキスト改訂

【5】会議報告

【通常総会】

平成27年6月2日、横浜ベイシェラトンホテル&タワーズにおいて、通常総会を開催した。平成26年度事業報告及び決算報告の承認と平成27年度事業計画及び予算が報告承認された。

【理事会】

第15回	平成27年4月23日	事業報告、決算報告
第16回	〃 6月2日	役員選任
第17回	平成28年2月25日	事業計画、予算

【副会長会議】

第1回	平成27年4月9日
第2回	〃 9月8日
第3回	平成28年2月9日

【企画部会】

第1回	平成27年6月18日	第2回	平成27年8月27日
第3回	〃 11月26日	第4回	〃 28年2月18日

【支部連絡会議】

第1回	平成27年5月15日	第2回	平成27年7月23日
第3回	〃 9月11日	第4回	〃 12月11日
第5回	〃 28年3月7日		

【資産運用委員会】

第1回	平成27年4月9日
第2回	〃 9月8日
第3回	平成28年2月9日

【役員候補者選出委員会】

第1回	平成27年4月9日
-----	-----------

【記念事業実行部会】

第1回 平成27年7月1日

第2回 平成27年9月17日

第3回 ハ 11月20日

当協会は、昭和22年に産業安全協会が設立、昭和23年に労働衛生協会が設立され、昭和41年に両協会が合併し安全衛生協会となり、この合併から数えて平成28年に50周年を迎えた。

記念すべき50周年の節目を迎え、50周年記念事業を執り行うことを取りまとめ、平成28年2月の17回理事会に答申した。

記念事業としては、記念式典・祝賀会を開催し、記念誌を発行することとした。併せて50周年記念ロゴを作成し、50周年を広くPRしていくこととした。

こうした50周年の周知を図りながら協会関係者一同が改めて50周年の意義を問い合わせ直し、公益法人として果たすべき役割は何か、また登録教習機関として優れた専門性と信頼性をどう保っていくべきか、考える機会とする。

① 記念式典・祝賀会の開催

50周年を記念して11月15日に横浜ベイシェラトンホテルで「神奈川大会」を開催する。具体的には、横浜南・横浜北・鶴見・横須賀の4支部を担当支部として例年以上の参加人員を募り大いなる組織力をアピールしたい。

できるだけ早い段階から参加を呼掛け記念式典に相応しい大会開催にしたい。

② 記念誌の発行

読みやすく、見やすく、親しみやすい50周年記念誌を発行する。例えば記念式典、祝賀会の様子を写真で紹介、50年の歴史を振り返り歩みを紹介、できるだけビジュアルな冊子を企画したい。

機関誌かながわの広報委員会と連携を図りながら、記念誌の企画を進めたい。

【関係団体会議】

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 神奈川労働局 | 神奈川メンタルヘルス対策推進連絡会議 |
| 2. 神奈川労働局 | 労働災害防止団体長会議 |
| 3. 中央労働災害防止協会 | 総会・理事会・業務連絡会議 |
| 4. (公社)全国労働基準関係団体連合会 | 総会・理事会・事務局長会議 |
| 5. (独)神奈川産業保健総合支援センター | 産業保健総合支援センター運営協議会 |
| 6. 神奈川県交通安全対策協議会 | |
| 7. 神奈川健康づくり推進会議 | |

【6】専門委員会活動報告

総務部会

内容 委員 会名	基本方針	活動報告
広報委員会	労務管理・安全衛生管理に関する知識・技術の習得及び会員相互の情報交換に資するため、広報に関する企画立案案を行うとともに、協会機関誌「労務安全衛生かながわ」を毎月発行する。	協会機関誌「労務安全衛生かながわ」を通巻794号～805号を発行した。また800号発行時に、「800号記念特集」を企画し掲載した。 編集にあたっては、読者に「読まれ」「親しまれ」「役立つ」を目指し、内容については神奈川労働局の広報記事、産業医等による健康アドバイス、専門委員会の活動情報、会員事業場の労務安全衛生への取組状況の紹介等幅広い情報を掲載した。
教育委員会	会員事業場における労務・安全・衛生管理の充実を目的に、時代の要請に従い単に法令遵守に留まらず、危害防止の確立・責任体制の明確化及び自主的活動を促進する一助として、各種セミナー・講座等を企画立案し推進する。	労務安全衛生管理に関する諸問題を中心に時勢の変化に対応すべく教育内容の更なる充実を図った。 「安全衛生実務レベルアップ教育」では安全担当の基礎、衛生管理の基本をテーマに開催した。また「労務安全衛生管理夏季講座」の第1分科会を担当し、「労働安全衛生マネジメントシステムのISO規格化へ向けた最新動向」及び「安全担当の技能伝承」をテーマに開催した。
労働災害統計委員会	労働災害統計の重要性について認識と理解を深め、提出率の向上と統計資料の有効活用を推進することにより災害防止の一助とする。	提出率の目標である50%を超える会員事業場の協力を得て半期毎の災害統計を集約し、分析結果を再発防止に活かすべく協会機関誌に掲載した。また、集約結果をもとに「神奈川大会」で支部別安全競争入賞支部を表彰した。

労務部会

労務管理委員会	会員事業場における労働条件の改善、労働福祉対策の推進、労働基準法をはじめとする労働関係法令の遵守、行政施策の周知を図る。	各社の労務管理や安全衛生上の課題及び過重労働による健康障害防止対策・ストレスチェックの義務化への対応について情報交換を行った。 28年度の「労務安全衛生管理夏季講座」に向けて検討し、労務管理に関するテーマを提出することとした。
---------	--------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

安全部会

内容 委員会名	基本方針	活動報告
プレス委員会	プレス作業主任者技能講習をはじめ特別教育等を効果的に行い、プレス災害防止に努める。	<p>委員が「プレス機械作業主任者技能講習」「動力プレスの金型等の業務に係る特別教育」の講師を担当した。</p> <p>プレス機械の安全装置管理指針の改正について講義内容への採用に付き検討を行った。</p> <p>優良事業場の見学を通じて委員の資質向上を図った。</p>
クレーン委員会	クレーン運転・玉掛け技能者の養成及び技能向上のため各種教育内容の充実を図り、実作業に即応するとともに講習等を通じ安全意識の高揚と災害防止対策の推進を図る。	<p>委員が「床上操作式クレーン運転技能講習」「玉掛け技能講習」「クレーンの運転の業務に係る特別教育」の講師を担当し内容の充実を図った。</p> <p>クレーン・玉掛け作業に係わる災害事例検討を行い、その結果を協会機関誌に掲載し災害防止対策を推進した。</p> <p>優良事業場の見学を通じて委員の資質向上を図った。</p>
溶接委員会	ガス溶接及びアーク溶接の教育をより一層充実させ、溶接作業に係る災害の防止を推進する。	<p>委員が「ガス溶接技能講習」「アーク溶接等の業務に係る特別教育」の講師を担当した。</p> <p>ガス溶接及びアーク溶接作業に係る災害事例研究を行った。</p> <p>アーク溶接特別教育用テキストの見直しを行った。</p>
電気委員会	電気による労働災害防止対策の一環として、労働安全衛生規則に基づく「電気取扱業務に係る特別教育」を行うとともに、電気災害防止の一層の推進を図るために方策を検討・実施する。	<p>委員が「電気取扱業務に係る特別教育」の講師を担当した。</p> <p>電気災害防止の観点から電気安全に関する幅広い啓発を目的に会員への周知を図った。</p>
火災爆発災害対策委員会	会員事業場の火災爆発災害防止と安全衛生管理レベルの向上に資するため、ニーズに合った講習会の開催、乾燥設備作業主任者技能講習の推進、また火災爆発災害事例技術を調査・解析し安全ノウハウの提供を行う。	<p>「火災爆発災害防止講習会」を「『静電気による火災爆発防止対策の基礎と事故事例』～実験による静電気体験学習及び火災爆発事故事例とリスク管理～」のテーマで開催した。</p> <p>火災・爆発災害事例研究を行い、その結果を協会機関誌に掲載した。</p> <p>優良事業場を訪問し、情報交換を行い委員のレベル向上を図った。</p>

内容 委員会名	基本方針	活動報告
フォークリフト委員会	<p>フォークリフト運転業務従事者の技能向上と安全及び日常点検の重要性を更に認識させるべく安全衛生教育内容の充実を図り、フォークリフト運転災害の防止を推進する。</p>	<p>委員が「フォークリフト運転技能講習」「フォークリフトの運転の業務に係る特別教育」「フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育」の講師を担当した。 フォークリフト災害事例研究を行い、その結果を協会機関誌に掲載した。 優良事業場の見学を通じて委員の資質向上を図った。</p>
一般機械災害対策委員会	<p>金属・木工等の加工機械（プレス及び新技術応用機械を除く）による災害防止のため、これらの機械を正しく取り扱うための安全衛生教育を行い、災害防止の活動を啓発推進する。</p>	<p>在来型災害（はさまれ、巻き込まれ、切れ、こすれ）防止対策の事例研究を行い機械を正しく取り扱う安全衛生教育を実施し、また事例研究を協会機関誌に掲載し啓発に努めた。 災害事例検討や優良事業場見学を通じて委員の安全知識の向上を図った。</p>

第三次産業部会

卸売小売業委員会	<p>卸売小売業における労働者の適正な労働条件並びに安全と健康の確保対策の推進を図る。</p>	<p>三次産業における労働災害防止・長時間労働解消のための取組みについて、情報交換を行った。 労働関係法令指針、ガイドライン等の周知・啓発を図った。</p>
----------	-------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

労働衛生部会

内容 委員会名	基本方針	活動報告
保健対策委員会	産業医の立場で、働く人々の健康を確保するために、職場における健康障害リスクから労働者を保護し、それに関連する健康障害要因の予防を目的とした保健対策を展開する。	労働衛生専門職の総合力が発揮されるよう関連各専門委員会と連携協力に努め、産業保健分野の充実に寄与した。規模50人以上の会員事業場を対象に、健康指針アンケートを実施し、分析・取りまとめを行った。 委員が「第一種衛生管理者養成講習」「熱中症防止セミナー」及び労働衛生に係る技能講習の講師を担当した。
労働衛生技術委員会	これからの中作業環境管理・作業管理のあり方を、主として衛生工学的な面より調査・研究し、その成果の普及を図ることにより、職場の衛生管理水準の向上に寄与する。	「それで大丈夫？防じん、防毒マスクの正しい使用方法」「化学物質管理のためのリスクアセスメント講座」をテーマに「労働衛生工学講座」を2回開催した。 委員が「局所排気装置等定期自主検査者講習」「ダイオキシン類作業従事者特別教育」及び労働衛生に係る技能講習の講師を担当した。「『化学物質管理の実際』～化学物質リスクアセスメント（コントロール・パンディング）の進め方～」のテーマで「労務安全衛生管理夏季講座」第3分科会を担当した。
衛生管理推進委員会	衛生管理者及び衛生管理担当者の事業場における適正かつ効果的活動支援のため研修会や情報交流会、能力向上教育を通して資質の向上を図る。	「受動喫煙対策、メンタルヘルスケアにおける衛生管理者の役割」のテーマで「神奈川衛生管理担当者交流会」を開催し、衛生管理者の役割についてグループディスカッションを中心に研修した。 「『化学物質管理の実際』～化学物質リスクアセスメント（コントロール・パンディング）の進め方～」のテーマで「労務安全衛生管理夏季講座」第3分科会を担当した。 神奈川産業保健総合支援センターと共に、「衛生管理実務講座」を開催した。 委員が「衛生管理者能力向上教育」及び労働衛生に係る技能講習の講師を担当した。
産業保健活動委員会	1 従業員が健康で安心して働くことができるよう、健康障害の予防及び健康の保持増進活動において、専門的立場から助言及び支援並びに関連する情報の提供等を行う。 2 産業保健職の資質の向上、役割の自覚及び専門分野でのレベルアップを図る。 3 各支部における産業保健活動の充実と活性化を図るために支部間の連携を密にし、かつ関連情報等の提供及び収集に努める。	「労務安全衛生管理夏季講座」の第2分科会を担当し、「難病や障害、がんやメンタルヘルスを抱えている人の就労支援」のテーマで外部講師による講演を行った。 また、「海外勤務者と帯同家族を含めた健康管理」をテーマに「第85回 産業保健研修会」を開催した。 各支部における産業保健活動を広く推進するため、各支部内の活動を支援するとともに組織化を進めた。
救急法指導委員会	救急救命・応急手当の最新の知識と技術を習得し、事業場等における安全思想とプレ・ホスピタルケアの必要性を養うとともに、労働災害防止と安全衛生教育の推進を図る。	「救急法講習（基礎+短期）」を開催し、救急法の普及と救急救命・応急手当の最新の知識と技術等の習得、技術向上に努めた。 委員が「酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習」の救急法実技の講師を担当した。

3 表 彰

(1) 協 会

平成 27 年度神奈川労務安全衛生大会の席上、次の方々及び支部を表彰した。

＜労務安全衛生功労賞＞

遠 藤 俊一	富士フィルムテクノプロダクツ(株)南足柄サイト
田 村 茂	(株)末長組
長 岡 康 雄	(株)日経東京製作センター川崎工場
仁 上 洋一郎	日吉電装(株)
林 親 弘	(株)東芝小向事業所
山 中 正 博	日本ポリエチレン(株)川崎工場
中 島 啓 二	日本冶金工業(株)川崎製造所
山 中 元 一	JX日鉱日石エネルギー(株)川崎製造所
姫 野 有 紀	森永製菓(株)鶴見工場
二 瓶 守 生	ビューテック(株)鶴見営業所
川 上 栄 治	(株)京浜マリン製作所
近 藤 寿 市	横浜計装(株)
岸 木 政 則	フドー(株)本社事業所
村 上 敏 明	山村フォトニクス(株)横浜工場
松 村 修 一	昭和電工(株)横浜事業所
日 高 健 太 郎	(株)総合車両製作所
土 生 明 永	KIホールディングス(株)
森 一 茂	(株)有隣堂
柴 田 英 明	日産自動車(株)追浜工場
松 平 徹	東海カーボン(株)湘南工場
小 野 寺 純 一	池上通信機(株)システムセンター
梶 原 裕 美	(株)神戸製鋼所藤沢事業所
石 木 田 悟	(株)荏原製作所藤沢事業所
神 岡 英 明	(株)アルバック
阿 部 隆 雄	日本ギア工業(株)

小板橋 裕 平塚金属工業㈱

原田 稔 (㈱)パイロットコーポレーション平塚事業所

菅原 晋太 (㈱)日産クリエイティブサービス湘南支店

中野 みどり 田中貴金属工業㈱平塚工場

永井 康博 アサヒビール㈱神奈川工場

石井 邦夫 (㈱)タマダイ

飯島 正信 三菱化学ハイテクニカ㈱小田原テクノセンター

成田 光繁 日本電気㈱相模原事業場

青木 茂 KYB㈱相模工場

松井 正廣 日本板硝子㈱相模原事業所

村澤 勝 昭和電線ケーブルシステム㈱相模原事業所

渡部 宏 アンリツ㈱

野口 文夫 旭硝子㈱相模工場

岡野 利明 岡野電線㈱

三輪 俊介 グレースジャパン㈱

島田 正由 日本飛行機㈱航空機整備事業部

米沢 克之 プレス工業㈱川崎工場

小田 英一 JFEスチール㈱東日本製鉄所

上妻 拓雄 三菱日立パワーシステムズ㈱

押小路 珠左 (公社)神奈川労務安全衛生協会

今井 和弥 (㈱)ガステック

渡邊 文雄 (㈱)ガステック

鈴木 学 光明理化学工業㈱

久米 史郎 (㈱)重松製作所

粉川 昇市 粉川労働衛生コンサルタント事務所

日高 信夫 (公社)神奈川労務安全衛生協会

富田 耕二 (公社)神奈川労務安全衛生協会

中村 清志 ダイヤ物流㈱

宮川 喜義 菱清サービス㈱

<支部別安全競争入賞>

優 勝 平塚支部
準 優 勝 川崎北支部
努力賞 藤沢支部
向上賞 川崎南支部

(2) 厚生労働省

① 厚生労働大臣表彰及び顕彰

厚生労働大臣 奨励賞
(株)ニューフレアテクノロジー

安全優良職長厚生労働大臣顕彰

佐宗一敏 三菱化学ハイテクニカ(株)小田原テクノセンター

② 神奈川労働局長表彰

神奈川労働局長 優良賞
日本ゼオン(株)総合開発センター
(株)えひめ飲料東京工場

神奈川労働局長 奨励賞

クノール食品(株)
飛島・村本・奈良建設共同企業体
(仮称)新磯子幹線口径 1200mm 送水管新設工事
東光東芝メーターシステムズ(株)浮島事業所
追浜工業(株)
山村フォトニクス(株)横浜工場
東レ・ダウコーニング(株)山北工場
キヤノン(株)綾瀬事業所
住電資材加工(株)横浜事業部
東芝ナノアナリシス(株)本社事業所
日本新薬(株)小田原総合製剤工場

神奈川労働局長 団体賞

東芝横浜事業所安全衛生協力会

神奈川労働局長 功績賞

梅沢利雄

神奈川労働局長 安全衛生推進賞

菅 英 美

白須 吉男

本田 弘

三宅 仁

持田 孝

渡邊 勉

(3) 中央労働災害防止協会

① 緑十字賞

飯岡 利夫 ナステック(株)

指出 和男 横浜ゴム(株)平塚製造所

② 中小企業無災害記録証

(株)西山製作所本社工場 2,050 日 (第4種)

(株)足柄グリーンサービス
富士ゼロックス竹松事業場 3,900 日 (第3種)

(株)足柄グリーンサービス
富士ゼロックス塚原研修事業場 4,300 日 (第4種)

(株)足柄グリーンサービス
足柄サイト事業場 3,150 日 (第4種)

(株)足柄グリーンサービス
富士フィルム神奈川工場
小田原サイト事業場 3,900 日 (第3種)

钣金工業(株) 350 日 (第1種)

(株)新倉技研 1,100 日 (第1種)

ニチユ物流(株) 1,350 日 (第3種)

(株)ケーヒンバルブ 2,250 日 (第4種)

東海氣熱(株) 2,800 日 (第2種)

フォルム(株) 2,400 日 (第5種)

北港運輸(株)横浜支店 2,400 日 (第3種)

北港運輸(株)相模原支店 2,400 日 (第3種)

AGCプライブリコ(株)茅ヶ崎工場 3,400 日 (第5種)

③ 全国THP推進協議会表彰

全国THP推進協議会 進歩賞

(株)オハラ